



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月31日

上場会社名 日本ギア工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6356 URL http://www.nippon-gear.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 0466-45-2100
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,879	12.1	192	150.7	194	134.8	125	147.1
2020年3月期第1四半期	1,677	16.9	76	175.1	82	156.1	50	165.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.85	8.85
2020年3月期第1四半期	3.59	3.58

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	11,278	8,297	73.6	582.67
2020年3月期	11,299	8,177	72.4	574.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,296百万円 2020年3月期 8,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,600	1.6	△150	—	△140	—	△100	—	△7.04
通期	8,000	5.6	270	△52.5	270	△53.3	190	△52.0	13.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	14,280,000株	2020年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	42,060株	2020年3月期	42,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	14,237,940株	2020年3月期1Q	14,189,640株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・アクチュエータの受注は増加いたしました。ジャッキ、その他減速機は減少いたしました。歯車につきましては、自動車用、特殊車両用、鉄道船舶用が減少したことにより受注は減少いたしました。これにより、歯車及び歯車装置事業の受注は減少いたしました。工事事業では、石油ガス向けが減少したことにより受注は減少いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の受注高は、19億95百万円（前年同期比5.1%減）、売上高は、18億79百万円（前年同期比12.1%増）となりました。一方、当第1四半期会計期間末の受注残高は、42億21百万円（前事業年度末比2.8%増）となりました。

損益面につきましては、売上原価が12億65百万円（前年同期比8.3%増）、販売費及び一般管理費は4億21百万円（前年同期比2.4%減）となりました。これにより、営業利益は1億92百万円（前年同期比150.7%増）、経常利益は1億94百万円（前年同期比134.8%増）、四半期純利益は1億25百万円（前年同期比147.1%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業では、バルブ・アクチュエータの受注高は、鉄鋼向け、原子力発電所向けが減少したものの、火力発電所向け、上下水道向け、石油ガス向けの補修及び改造部品が増加したことにより、前年同期比14.9%増加いたしました。売上高は、原子力発電所向けが減少したものの、石油ガス向け、化学向け設備投資及び上下水道向け大型緊急遮断ゲートの設置、台風被害による復旧案件等が増加したことにより、前年同期比16.9%増加いたしました。

ジャッキにつきましては、受注高は鉄道船舶用の設備投資が増加したものの、紙・パルプ向け、その他汎用品向け需要が減少したことにより、前年同期比23.4%減少いたしました。売上高は、自動車用、鉄道船舶向け設備投資が増加したものの、半導体・液晶向け設備投資、工作機械向け、その他汎用品向け需要が減少したことにより、前年同期比17.9%減少いたしました。

その他増減速機につきましては、受注高は原子力発電所向けターニング装置用減速機、上下水道向けの攪拌機等や台風被害による復旧案件の増速機が増加したものの、鉄鋼向け等が大きく減少したことにより前年同期比13.6%減少いたしました。売上高は石油ガス向け増減速機が減少したものの、火力発電所向け排煙脱硫装置用攪拌機及びターニング装置用減速機が増加したことにより22.1%増加いたしました。

歯車につきましては、受注高は自動車用、鉄道船舶用傘歯車、コンプレッサー用円筒歯車が減少したことにより、前年同期比44.8%減少いたしました。売上高は鉄道船舶用傘歯車や建設機械用歯車が増加したことにより前年同期比10.0%増加いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比2.6%減少いたしました。売上高は前年同期比11.7%増加いたしました。

工事事業につきましては、受注高はコロナ禍の影響による補修・点検工事計画の変更や延期等により、前年同期比14.3%減少いたしました。売上高は、火力発電所向けの大口点検工事が減少したものの、石油ガス向け点検工事が増加したことにより前年同期比13.5%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ17百万円減少し83億41百万円となりました。これは主にたな卸資産が1億30百万円、現金及び預金が49百万円増加いたしました。売掛債権が1億90百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べほぼ同額の29億37百万円となりました。これは主に投資有価証券が53百万円、前払年金費用が11百万円増加いたしました。有形固定資産が41百万円、無形固定資産が11百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ94百万円減少し21億25百万円となりました。これは主に仕入債務が28百万円増加いたしました。賞与引当金が1億13百万円、未払法人税等が44百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ46百万円減少し8億55百万円となりました。これは主に長期借入金が44百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ1億19百万円増加し82億97百万円となりました。これは主に利益剰余金が83百万円、その他有価証券評価差額金が36百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の各利益の実績値が2020年5月11日の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を上回っておりますが、夏場の電力需要期には発電所の定期点検が抑制され売上が減少する可能性があります。また費用につきましても新製品等の研究開発費の支出を第2四半期会計期間以降に計上していく予定であります。現時点では売上予想・費用発生予想が困難なことから利益を合理的に算定できないため業績予想は変更しておりません。今後、利益予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,672,039	2,721,210
受取手形及び売掛金	2,927,691	2,737,468
商品及び製品	189,800	192,335
仕掛品	844,057	768,682
原材料及び貯蔵品	1,631,866	1,835,196
その他	93,801	86,504
流動資産合計	8,359,256	8,341,397
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	732,232	691,019
有形固定資産合計	1,745,523	1,704,310
無形固定資産		
	173,831	162,806
投資その他の資産		
投資有価証券	436,723	489,801
前払年金費用	494,441	505,888
その他	95,307	79,431
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	1,021,272	1,069,920
固定資産合計	2,940,627	2,937,037
資産合計	11,299,884	11,278,434
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,245,652	1,258,140
1年内返済予定の長期借入金	179,216	179,216
未払法人税等	121,964	77,756
賞与引当金	223,548	110,487
その他	449,889	500,046
流動負債合計	2,220,270	2,125,646
固定負債		
長期借入金	713,153	668,349
退職給付引当金	4,033	3,933
資産除去債務	166,521	166,564
その他	18,324	16,620
固定負債合計	902,033	855,468
負債合計	3,122,303	2,981,114

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	844,557	844,557
利益剰余金	5,864,506	5,947,730
自己株式	△15,489	△15,489
株主資本合計	8,082,375	8,165,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,933	130,448
評価・換算差額等合計	93,933	130,448
新株予約権	1,271	1,271
純資産合計	8,177,580	8,297,320
負債純資産合計	11,299,884	11,278,434

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,677,309	1,879,530
売上原価	1,169,116	1,265,618
売上総利益	508,193	613,912
販売費及び一般管理費	431,320	421,155
営業利益	76,872	192,756
営業外収益		
受取配当金	9,232	7,958
その他	1,651	770
営業外収益合計	10,883	8,728
営業外費用		
支払利息	2,853	2,373
支払手数料	1,516	4,253
その他	723	738
営業外費用合計	5,093	7,365
経常利益	82,662	194,119
税引前四半期純利益	82,662	194,119
法人税等	31,687	68,181
四半期純利益	50,975	125,938

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	1,344,273	333,036	1,677,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,344,273	333,036	1,677,309
セグメント利益又は損失(△)	79,874	△3,002	76,872

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	1,501,596	377,934	1,879,530
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,501,596	377,934	1,879,530
セグメント利益	156,987	35,768	192,756

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。